

厚木市 オールハザードマップ

令和4年3月発行



洪水浸水
ハザードマップ



土砂災害
ハザードマップ



地震
ハザードマップ



ハザードマップの使い方

近年、全国各地で地震や津波、豪雨や大雪、電害などの災害が多発しています。このような災害から命を守るためには、市民の皆様一人ひとりの災害に対する心構えと備えが重要となってきます。

このマップには、厚木市で想定される災害リスクや避難所を地図上に示しています。加えて、災害に対する心構えや備えについても示しています。

ぜひ、ご自身やご家族の皆さんでマップをご覧になり、防災を考える際にご活用ください。



厚木市内水（浸水）ハザードマップ

厚木市ではこのマップのほか、市内での内水（浸水）被害を想定した厚木市内水（浸水）ハザードマップを作成しています。このマップとあわせてご活用ください。

わが家の防災メモ

●家族、親せき・知人の連絡先

●家族の避難場所・集合場所

情報の入手先

避難情報の伝達手段

市からの避難情報は、屋外に設置している防災行政無線のほか、室内でも放送内容を確認できるさまざまな伝達手段を用意しています。

雨や風の音で防災行政無線が聞き取りにくい場合は、テレビ(TVKデータ放送)やテレホンサービスなどで、必要な防災情報を入手してください。

市ホームページ 防災行政無線の放送内容を掲載	緊急メールマガジン 防災行政無線の放送内容をメールで配信（事前登録が必要）	緊急速報メール 緊急地震速報や避難情報を市内の携帯電話に一斉配信	防災行政無線屋外子局 市内全域に設置している子局から避難情報を放送
テレホンサービス 電話で最新の放送内容を聞くことができる TEL:0180-994422 ※サービスの利用には通話料がかかります。	ラジオ FMヨコハマ(84.7MHz)、FMカオン(84.2MHz)で市からの緊急情報を放送	TVKデータ放送 TVK(テレビ神奈川)のデータ放送で放送内容を表示	LINE 厚木市公式アカウントで防災行政無線の放送内容を配信

災害時に
受け取れる情報

市民のみなさん

災害時に
最新情報を確認

大雨や洪水などに関する情報の提供先

厚木市関連ホームページ 市ホームページや、防災気象情報等を確認できます。	厚木市ハザードマップ関係 洪水浸水・土砂災害・内水(浸水)等のハザードマップを確認できます。
厚木市河川水位情報 市内河川の水位情報、河川監視カメラ画像を確認できます。	神奈川県雨量水位情報 県内の雨量・水位情報、河川監視カメラ画像を確認できます。
神奈川県土砂災害情報ポータル 県内の土砂災害の危険度などの情報を確認できます。	洪水予報 国や県の発表する河川の洪水予報を確認できます。
気象情報 注意報 気象庁から発表される気象情報・注意報を確認できます。	e-かなマップ 県内のくらし、「防災と安全」などの地図情報を確認できます。

災害伝言ダイヤル / 災害伝言板

171 「録音」するとき 1 → 自宅の固定電話番号(市外局番から) → 「録音」する (30秒以内)
171 「再生」するとき 2 → 自宅の固定電話番号(市外局番から) → 「再生」が始まる

NTT東日本 Web171	NTTドコモ 災害用伝言板	KDDI 災害用伝言板	Softbank 災害用伝言板
---------------	---------------	-------------	-----------------

厚木市 市長室 危機管理課
〒243-8511 厚木市中町 3-17-17 (市役所本庁舎4 階) TEL 046-225-2190 FAX 046-223-0173

わが家のマイ・タイムライン(洪水浸水・土砂災害)

洪水浸水・土砂災害に備えて事前にマイ・タイムラインを作っておきましょう

日ごろからの備え	自宅の(周辺)の状況	☐ 川の浸水のおそれあり (浸水の深さ m) ☐ 土砂災害のおそれあり (☐ がけ崩れ (急傾斜地) ☐ 土石流)	自宅は ☐ 区域の中 ☐ 区域の外
	避難する場所	連絡先① (避難の方法 : ☐ 車 ☐ 徒歩) (避難にかかる時間 分) 連絡先② (避難の方法 : ☐ 車 ☐ 徒歩) (避難にかかる時間 分)	
	避難の目安 (タイミング)	警戒レベル	とき
	事前の準備 (確認事項)	☐ 避難場所、避難ルートの確認 ☐ 家族の予定を確認 ☐ 家の施設、自宅周辺の片付け ☐ 携帯電話などの充電 ☐ 常備薬の準備 ☐ 避難する際の服装の確認 ☐ 非常持出袋の確認 その他 (.....)	

情 報	準備・確認事項
平常時	
警戒レベル 1 ●早期注意情報 (警戒級の可能性)	☐ テレビやインターネットで気象情報を確認する ☐ 防災グッズや避難の服装を再確認する ☐ ハザードマップで、避難場所や避難ルートを再確認する ☐ 家族の予定を確認する ☐ 植木鉢や物干しなど飛ばされそうなものを家の中に入れる
警戒レベル 2 ●大雨注意情報 ●洪水注意情報 ●氾濫注意情報	☐ 動きやすい服に着替える ☐ テレビやインターネットで雨雲レーダーや川の水位を確認 ☐ 携帯電話を充電する
警戒レベル 3 高齢者等避難 ●大雨警報 (土砂災害) ●洪水警報 ●氾濫警戒情報	☐ わたし(と家族)の避難するタイミング (警戒レベル3 発令) 避難する際の注意点 ☐ 避難場所の開封状況を確認 ☐ 暗くなる前に避難 ☐ 火の元、戸締りの確認 ☐ 雨が強くなる前に避難 ☐ 避難先を家族に連絡 ☐ ☐ 非常持出袋を持って避難 ☐
警戒レベル 4 避難指示 ●土砂災害警戒情報 ●氾濫危険情報	☐ わたし(と家族)の避難するタイミング (警戒レベル4 発令) 避難場所の開封状況を確認 ☐ 火の元、戸締りの確認 ☐ 避難先を家族に連絡 ☐ 非常持出袋を持って避難
警戒レベル 5 緊急安全確保 ●大雨特別警報 ●氾濫発生情報	もし避難できていなかったら何ができる? (警戒レベル5 発令) ☐ ☐ ☐

わが家のマイ・タイムライン(地震)

地震に備えて事前にマイ・タイムラインを作っておきましょう

日ごろからの備え	自宅の(周辺)の状況	☐ 予想される揺れの強さ 自宅の建築年 : ☐ 旧耐震基準 (1980 年以前) ☐ 新耐震基準 (1981 年以降)
	避難する場所	連絡先① (避難の方法 : ☐ 車 ☐ 徒歩) (避難にかかる時間 分) 連絡先② (避難の方法 : ☐ 車 ☐ 徒歩) (避難にかかる時間 分)
	避難の目安 (タイミング)	☐ 自宅が被災 ☐ 電気・水道・ガスなどのライフラインが途絶える ☐ 余震のおそれがあるとき
	事前の準備 (確認事項)	☐ 避難場所、避難ルートの確認 ☐ 家族の予定を確認 ☐ 家の施設、自宅周辺の片付け ☐ 携帯電話などの充電 ☐ 常備薬の準備 ☐ 避難する際の服装の確認 ☐ 非常持出袋の確認 その他 (.....)

情 報	準備・確認事項
地震発生	☐ 体勢を低くし、頭を守り動かない (シェイクアウト)
地震後から 5 分まで	☐ ガスの元栓を閉める ☐ 家族の安否確認 ☐ 玄関・窓を開けて逃げ道を確保する ☐ 靴、スリッパを履く
地震後から 30 分まで	☐ 余震に注意し、近所や周辺の状況を確認 ☐ 非常用持出袋、備蓄品を確認 ☐ テレビ・携帯電話等で地震情報を収集 ☐ 公園などの地域の避難場所へ避難
地震後 数時間	☐ 地域で協力できる範囲での消火・救助活動 ☐ 避難所の開設状況を確認 ☐ 避難所へ避難 ☐ 自宅が安全な場合は在宅避難 ☐ 避難先を家族に連絡
地震後 数日間	☐ 災害伝言ダイヤル (171) や SNS 等で無事を知らせる ☐ 避難者で協力し避難所を運営する ☐

地震ハザードマップ

この図は「都心南部直下地震」が起こった場合に想定される揺れの強さを震度階級として示したものです。実際に地震が発生したときは、想定よりも揺れが大きくなることもあります。

日頃からご自宅周辺などで想定される震度階級がどの程度か確認しておくとともに、想定される被害がどのようなものか確認しておきましょう。

凡 例

- 指定避難所
- 広域避難場所
- 高速道路
- 地区境界

都心南部直下地震

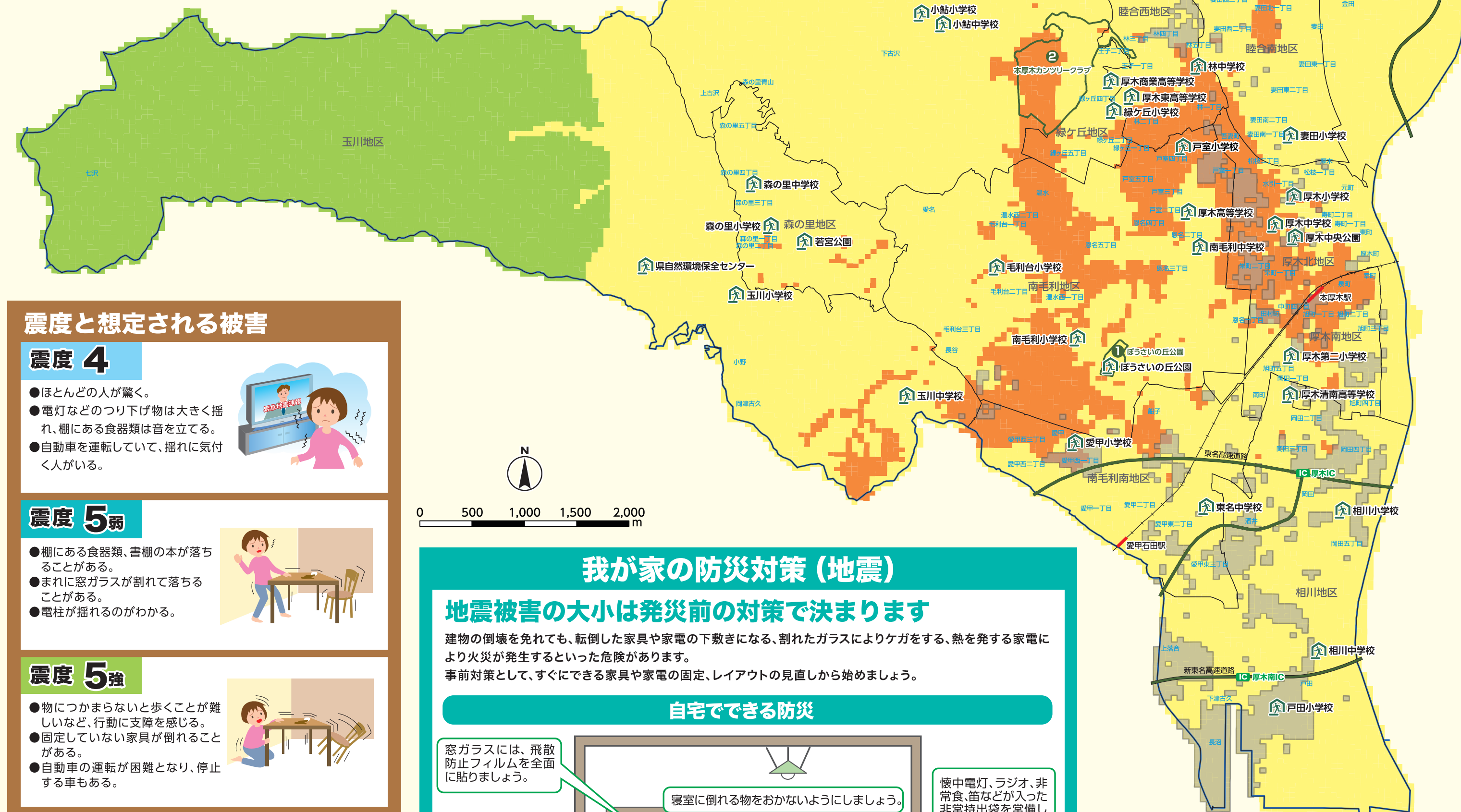
- 液状化可能性あり

震度階級

- 震度6強
- 震度6弱
- 震度5強

広域避難場所

No.	名 称	所在地
①	ほうさいの丘公園 (東京農業大学農学部厚木キャンパスを含む)	温水783-1 TEL 270-1035
②	本厚木カンツリークラブ (厚木東高等学校、厚木商業高等学校を含む)	飯山1700
③	荻野運動公園	中荻野1500 TEL 225-2900



我が家の防災対策 (地震)

地震被害の大小は発災前の対策で決まります

建物の倒壊を免れ、転倒した家具や家電の下敷きになる、割れたガラスによりケガをする、熱を発する家電により火災が発生するといった危険があります。事前対策として、すぐにできる家具や家電の固定、レイアウトの見直しから始めましょう。

自宅でできる防災

- 窓ガラスには、飛散防止フィルムを全面に貼ります。
- カーテンは防災加工のものにしましょう。
- ガラスの破片によるケガを防止するため、スリッパなどの室内履きを身近に用意しておきましょう。
- 電気復旧時、倒れた電気スチーブなどに通電して火災となるのを防ぐため、感震ブレーカー設置を検討しましょう。
- 寝室に倒れる物をおかないようにしましょう。
- 懐中電灯、ラジオ、非常食、缶などが入った非常持出袋を常備しましょう。
- タンスなどの背の高い家具はL型金具や支え棒で固定しましょう。
- 扉に留め具をつけましょう。
- 常に水を溜めておきましょう。
- 火元に消火器を設置しましょう。
- テレビの転倒防止には、ストラップ式の留め具や耐震マットなどで固定しましょう。

ご自宅の耐震性は大丈夫ですか？

建築基準法に基づく現行の耐震基準（新耐震基準）は1981年(昭和56年6月1日)に導入されました。阪神・淡路大震災では、住宅・建築物の倒壊による大きな被害がみられ、特に昭和56年以前に建築されたものに大きな被害が発生しました。

今後予想される地震への備えとして、ご自宅の耐震基準（建てられた年）を確認しておきましょう。また、必要に応じて専門家などによる耐震診断・耐震補強等をご検討ください。

